

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●チャンピオンズカップではジュンライトボルトがG I 初制覇

12月4日(日)に行われたチャンピオンズカップ(G I)ではジュンライトボルト(牡5歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。同馬はダート競走4戦目。これは2001年のクロフネ(ダート競走2戦目で優勝/当時はジャパンカップダート)に次ぐ、レース史上2番目の少キャリア勝利となります。

### ●横山典弘騎手が通算2900勝、松山弘平騎手が通算1000勝を達成

12月4日(日)の6回中京2日・第2レースではレッドファアロが1着となり、同馬に騎乗した横山典弘騎手(美浦・フリー)は、史上3人目、現役では武豊騎手に続く2人目の記録となるJRA通算2900勝(2万848戦目)を達成しました。また同日の第9レースとして行われたこうやまき賞ではコレペティートルが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上41人目・現役22人目となるJRA通算1000勝(1万1030戦目)を達成しました。

### ●大野拓弥騎手が1万2000回、江田照男騎手が1万8000回騎乗達成

12月3日(土)の5回中山1日・第2レースでブレードランナーに騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、史上31人目・現役19人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。翌4日(日)の5回中山2日・第4レースでデオヴォレンティに騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、史上10人目・現役8人目となるJRA通算1万8000回騎乗を達成しました。

### ●和田正一郎調教師が200勝、池江泰寿調教師が800勝を達成

12月3日(土)の5回中山1日・第3レースではエミューが1着となり、同馬を管理する和田正一郎調教師(美浦)は、現役108人目となるJRA通算200勝(延べ3084頭目)を達成しました。また同日の第11レースとして行われたスポーツニッポン賞ステイヤーズS(G II)ではシルヴァーソニックが1着となり、同馬を管理する池江泰寿調教師(栗東)は、史上39人目・現役5人目となるJRA通算800勝(延べ5375頭目)を達成しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ペイシャエスが名古屋グランプリ(名古屋)で2度目の重賞制覇

名古屋グランプリ(JpnII、12月8日、名古屋、2100米)は、4～5番手から差を詰めた1番人気のペイシャエス(菅原明良騎手、牡3歳、父エスポワールシチー)が、先に抜け出したヴァンヤールをゴール前でハナ差捉え、ユニコーンS以来の重賞勝ち。ラゴムが3着、2番人気のケイアイパープルが4着、3番人気のクリンチャーが5着と、JRA所属馬が上位を独占しました。

### ●兼六園ジュニアCはノブノビスケッツ【各地の主要2歳重賞】

兼六園ジュニアC(10月30日、金沢、1500米)は、後ろから2頭目という位置から追い上げた3番人気の北海道からの移籍馬ノブノビスケッツ(牡、父マインドユアビスケッツ)がゴール寸前で差し切り勝ち。高知デビュー馬限定戦の黒潮ジュニアチャンピオンシップ(10月30日、高知、1400米)は、2番手を追走した4番人気のハチキンムスメ(牝、父パドトロワ)が逃げ馬に競り勝ちました。ラブミーチャン記念(11月1日、笠松、1600米、牝馬)は、逃げた大井からの遠征馬ボヌールパローズ(父ヘニーヒューズ)が後続に2馬身半差を付け、単勝1.4倍の支持に応えています。

### ●オマツリオトコらが参戦、12月14日の全日本2歳優駿(川崎)

全日本2歳優駿(JpnI、12月14日、川崎、1600米)は、兵庫ジュニアグランプリの覇者オマツリオトコが中心、以下ペリエール、デルマソトガケ、スペシャルエックス(北海道)、ヒーローコール(浦和)、マルカラビッド、コパノハンプトンの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●欧州年度代表馬2回の名牝ウィジャボードが亡くなる

2004、06年と欧州年度代表馬に2度輝いたウィジャボード(父ケーブクロス)が21歳で亡くなりました。生産し所有した第19代ダービー伯爵から現地11月29日に発表されました。イギリスのE.ダンロップ調教師が管理したウィジャボードは英オークス、愛オークス、プリンスオブウェールズS、香港ヴァーズ、BCフィリー&メアターフ(2回)、ナッソーSとG1に7勝。ジャパンC(GI)にも2度出走しました(2005年5着、06年3着)。ガリレオとの間に生まれたオーストラリアは英ダービー、愛ダービー、英インターナショナルS(以上、G1)を制して種牡馬となっています。

### ●G1シガーマイルH～マインドコントロールが有終の美を飾る

12月3日にアメリカ・ニューヨーク州のアケダクト競馬場で行われたG1シガーマイルH(3歳上、ダート1600米)は、J.ヴェラスケス騎手を背に2番手で流れに乗ったマインドコントロール(牡6歳、T.プレッチャー厩舎)が直線で3頭による競り合いを制して優勝。引退レースを白星で飾りました。2012年の勝ち馬であるステイサースティとの父子制覇となったマインドコントロールは2～6歳まで毎年重賞を制し(計8勝)、G1は2歳時のホープフルS(ダート1400米)、3歳時のH.アレンジャーケンスS(ダート1400米)に続く3勝目。種牡馬としての供用先は未定です。